

# 1年生授業シラバス

教育課程表 . . . . . 1

(令和5年度入学生)

共通教科に関する科目 . . . . . 2

専門科目に関する科目 . . . . . 11

(福祉)

福祉科1年(令和5年度入学生)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
言語文化	地理総合	数学I	科学と人間生活	体育	保健	音楽I	英語コミュニケーションI	家庭基礎	社会福祉基礎									生活支援技術				介護総合演習	介護実習	こころとからだの理解	HR						

言語文化

教科	国語	単位数	2	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	新編言語文化（数研出版）				
副教材等	常用漢字の1・2トライ（浜島書店）				

◇ 科目の目標 ◇

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の言葉</li> <li>・古文の世界を楽しむ</li> <li>・日本語の中に生きる漢文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。</li> <li>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を捉える。</li> <li>・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け継がれる古典</li> <li>・詩歌を味わう</li> <li>・故事と成語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>・日本の詩歌の豊かさを理解し、詩歌を楽しむ。</li> <li>・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

- 下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。
- (1) 授業への取り組み  
授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。
- (2) ノートの記載内容  
授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。
- (3) 教科書・問題集の問題  
各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。
- (4) 定期考査  
学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

国語は、皆さんが小学校からずっと学んできたなじみの深い教科だと思えます。高等学校でも続けて学んでいきます。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けましょう。また、さまざまな文章を読み味わい、言語文化に対する理解を深めましょう。

地理総合

教科	地歴公民	単位数	2	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	帝国書院 『新地理総合』		・	帝国書院 『標準高等地図』	
副教材等	なし				

◇ 科目の目標 ◇

持続可能な社会づくりを目指し、地理的環境と人間の営みとの関わりに着目して、現代の地理的な諸課題を考察する力を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1部 地図でとらえる世界 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結びつきを深める世界	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図の役割や有用性、活用法を理解し、グローバル化の進展に伴ってヒト・モノ・カネの動きがどのように変化し、それが身近な地域にどんな影響を与えているかについて考えを深める。</li> <li>・国際社会における国家の役割を理解し、国家間・地域間の相互関係について考える。</li> <li>・地形や気候などの自然と人間との関わりに着目して、世界各地の生活文化の特徴を理解し、その多様性の背景や変化の理由を考える。</li> </ul>
	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解	
後期	第2章 地球的課題と国際協力 地球環境問題 資源・エネルギー問題・人口問題 食糧問題・都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs、環境問題や資源・エネルギー問題についての基礎知識を獲得し、今後の取組について考え、議論する。</li> <li>・人口・食料・都市居住問題についての基礎知識を獲得し、今後の取組について考え、議論する。</li> <li>・地震や津波、火山の噴火、豪雨や熱帯低気圧などそれぞれの自然災害の特徴や対策方法について正しく理解し、災害に強い地域作りについて考える。</li> <li>・他地域との結びつき、地域の成り立ちや変化などに着目して、自らの生活圏が抱える課題を探究し、持続可能な社会のあり方や自身の社会参画のあり方について考え、議論する。</li> </ul>
	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢や学習態度、挙手の頻度、授業・議論への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に【主体的に学習に取り組む態度】の項目で評価する。

(2) プリントの記載内容

プリントに授業内容を適切にまとめているか、プリントをしっかりとファイリングしているかなどを評価する。

(3) 提出物

課題提出物の取り組み、内容から評価する。

(4) 定期考査

授業内容に即した問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

授業中、「へえ、そういうことかあ。」「あ、それ、どっかで聞いたことがあったけど、そのことだったんだあ。」などと、これまでに見聞きしてきたことがどんどんつながって行って、いろいろな事象を多面的・有機的に捉えられるようになるとうれしいです。そのためには、普段から、新聞やニュース、テレビのドキュメンタリー番組や教養番組に多く接し、見聞きしたことについて友人や家族といっぱい話して、世の中に対するアンテナをしっかりと広げましょう。もう数年で、みなさんも主権者です。立派な主権者となる準備をしましょう。それはきっと楽しいことですよ。

数学 I

教科	数学	単位数	2	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	高校数学 I 新訂版				
副教材等	高校サブノート 数学 I 新課程版				

◇ 科目の目標 ◇

数と式、2次関数について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1章 数と式	「数と式」では、平方根や文字を含む計算、1次不等式を扱い、高校数学の基礎を学びます。
後期	第2章 2次関数	「2次関数」では、グラフにより関数の変化の様子をつかみ、さらに2次不等式の解法を理解します。

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

数学を楽しく学ぶためには「授業を大切にすること」「教科書・問題集を利用すること」「記憶することより理解することに重点を置くこと」です。中学校での学習内容も必要に応じて学習し直します。真面目にコツコツ取り組んでいきましょう。

科学と人間生活

教科	理科	単位数	2	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	科学と人間生活（啓林館）				
副教材等	科学と人間生活の学習のノート（啓林館）				

◇ 科目の目標 ◇

- ・自然と人間生活とのかかわり及び科学技術と人間生活とのかかわりについての理解を深め、観察、実験などに関する技能を身に付け、人間生活と関連づけて科学的に探究する力を養う。
- ・自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1部 生命の科学 第1章 ヒトの生命現象	・遺伝子のはたらき、視覚、血糖濃度の調節、免疫についての基本的なしくみを理解します。 【前期中間考査】
	第2部 物質の科学 第2章 衣料と食品	・身近な衣料材料の性質や用途、食品中のおもな成分の性質について理解します。 【前期期末考査】
後期	第3部 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用	・光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解します。 【後期中間考査】
	第4部 宇宙や地球の科学 第2章 自然景観と自然災害	・身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、地域の地質や地形、気候などの特性や地球内部のエネルギーによる変動と関連づけて理解します。 【学年末考査】

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

宿題・課題等の記述、配布プリントの添付、授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 観察・実験等

観察・実験等を行い、レポートを書く。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価する。評価の観点のうち、知識・技能、思考・判断・表現に関する配分が大きい。

(4) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(5) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、知識・技能、思考・判断・表現に関する配分が大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- 1 日常生活の中で起こるさまざまな自然現象に興味をもち、そのしくみについて人間生活と関連づけて考える態度をもつこと。
  - 2 疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
  - 3 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけ、活用できること。
- 科学と人間生活では、考える習慣を大事にします。世の中には、まだ原因が解っていない現象や、解決しなければならない問題が数多くあります。答えが解らないわけですから、知識では太刀打ちできません。学んだ法則や概念を基に論理的に思考し、自分なりの解を求めることが求められています。

体育

教科	体育	単位数	2	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）				

◇ 科目の目標 ◇

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成する。

- ・運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- ・運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	体づくり運動・集団行動・体育理論 ダンス、ソフトテニス（男子） サッカー、バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたり運動に親しむことができるようにします。</li> <li>【知識・技能】</li> <li>・運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにします。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> </ul>
後期	バドミントン、陸上、サッカー（男子） ダンス、陸上、ソフトボール、体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公正、協力、責任や健康、安全に留意する態度を身に付けます。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

体育という授業は将来の皆さんの健康に大きく役に立つ教科です。身体を動かすことが好きな子、苦手な子いると思いますが、積極的に活動に参加してくれることを期待しています。

保健

教科	保健	単位数	1	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）				

◇ 科目の目標 ◇

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- ・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- ・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復
後期	現代社会と健康 安全な社会生活	現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防  健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

保健の授業は日々の生活に大きくかかわっている内容です。  
皆さんの知識が増えるのはもちろん、他の教科とつながりがある教科なので積極的に参加してください。

音楽 I

教科	音楽	単位数	2	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	音楽 I Tutti+ (教出)				
副教材等	ミュージックノート				

◇ 科目の目標 ◇

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたって音楽を愛する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱「春の憧れ」「心の瞳」 「翼を下さい」「少年時代」 「夏の思い出」「ふるさと」等</li> <li>・楽典「譜読み」「リズム練習」 「記号・調号の書き方」</li> <li>・音楽史及び鑑賞 「JS バッハ」「ベートーベン」 「モーツァルト」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話を使つての表現を理解します。</li> <li>・五線の中に記号や調号を正確に書けるようにします。</li> <li>・バロック、古典、ロマン派時代における音楽様式の特徴を理解します。</li> <li>・長調と短調の区別や平易な曲の調判定などを理解します。</li> <li>・ギターという楽器に挑戦します。</li> <li>・我が国の伝統音楽や世界の民族音楽を鑑賞します。</li> <li>・正しい音程とリズム・歌詞の内容を感じ取り、イメージを考えて歌います。</li> </ul>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱「喜びの歌」 「O sole mio」 「花まつり」 「ホールニューワールド」 「ラブ・ミー・テンダー」等</li> <li>・楽典「調判定」</li> <li>・鑑賞「ミュージカル」等</li> <li>・実習「ギター」</li> <li>・創作「曲作り」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音、音程、リズム、フレーズに注意し歌詞および曲想を考えて歌います。</li> <li>・音階を用いて簡単な曲作りに挑戦します。</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。

成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

・「歌う」「楽器を演奏する」「音楽を聴く」「音楽を理論的に考える」の4つの分野を年間通して学習します。  
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみても価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。



英語コミュニケーション I

教科	外国語	単位数	2	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	All Aboard! English Communication I (東京書籍)				
副教材等	・All Aboard! English Communication I ブリッジワークブック (東京書籍)				

◇ 科目の目標 ◇

日常的・社会的な話題について、準備・練習すれば、

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko ～ Lesson 5 Learning from the Sea	英語で自己紹介をできるようになる ～ 英語で将来の夢について話そう
後期	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo period ～ Lesson 10 Pigs from across the Sea	英語で好きな絵について話そう ～ 海外の文化や社会の理解を深める活動について英語で話そう

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

中学校で学習したことは、高校でも何度も何度も繰り返し登場します。まずは中学校の復習から始めますので、英語があまり得意でない人も不安に思う必要はありません。英語を勉強するというよりも、「英語を使って何ができるようになるか」を意識して、積極的に授業に取り組みましょう。ペーパーテストだけでなく、定期的にパフォーマンステスト(音読・会話・発表など)も行います。授業中に練習する時間を大切にしましょう。

## 家庭基礎

教科	家庭	単位数	2	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版)				
副教材等	2023 生活学 Navi (実教出版)、				

### ◇ 科目の目標 ◇

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識や技術を身に付けます。
- (2) 生活の中の課題を見つけ解決策を構想し、生涯を見通して課題を解決する力を養います。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養います。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	
	第1章 これからの人生について考えてみよう	・ これからの人生をデザインする
	第2章 自分らしい生き方と家族	・ ライフキャリア
	第6章 食生活をつくる	・ 私たちの食生活
後期	ホームプロジェクト	・ 食品の選び方と安全
	保育実践	・ 保育技術の基礎
	第3章 子どもとかわる	・ 子どもの発達と生活
	第7章 衣生活をつくる	・ 人と衣服のかかわり
	第8章 住生活をつくる	・ 人間と住まい
	第4章 高齢者とかわる	・ 高齢社会に生きる
	第5章 社会とかわる	・ 共生社会を生きる
	第9章 消費行動を考える	・ 消費生活の現状と課題
	第10章 経済的に自立する	・ 暮らしと経済
	保育実践	・ 保育技術の基礎

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) 学習プリントの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・家庭科では、生活するために必要な人やもの、ことがらについて学びます。これからの生活をより充実したものにするために、生活に関わる知識を増やし、技術を身に付けていきましょう。
- ・保育技術検定4級(4種目)を受験します。主体的に学習に取り組みましょう。

## 社会福祉基礎

教科	福祉	単位数	4	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	社会福祉基礎 (実教出版)				
副教材等	社会福祉基礎 学習ノート (実教出版)				

### ◇ 科目の目標 ◇

福祉の見方・考え方を働かせて、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会福祉の向上に必要な基礎的な資質・能力を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 社会福祉を幅広く理解し、支援に関する知識や技術を身に付けます。
- (2) 社会福祉の課題を発見し、職業人としての倫理観を踏まえ、根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して、自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的・協働的に取り組む態度を養います。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1編 社会福祉の理念と意義	・生活と福祉の関わり ・社会福祉の理念
	第2編 社会福祉の歴史と次代の展望	・人間の尊厳と新たな福祉社会の創造 【前期中間考査】 ・諸外国における社会福祉 (イギリス、アメリカ、北欧) ・日本の社会福祉 (戦前～戦後、現代までの福祉施策) 【前期期末考査】
後期	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度	・社会保障制度の意義と役割 ・子ども家庭福祉 ・障害者福祉 ・高齢者福祉 ・社会保険制度 等
	第4編 人間関係とコミュニケーション	【後期中間考査】
	第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	・コミュニケーションの基礎 ・社会福祉の支援活動の概要 ・多様な社会的支援制度 ・地域福祉の進展と地域の将来 【学年末考査】

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・福祉を学ぶ入門的な科目です。これから福祉を学ぶ者として、そして将来の福祉職に就く者として、福祉に必要な見方や考え方、知識・技術・態度を学んでいきましょう。
- ・この科目をとおして、あなたの福祉のとらえを広げ、理解を深めていきましょう。

生活支援技術

教科	福祉	単位数	4	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	生活支援技術（実教出版）				
副教材等	生活支援技術チェックポイント（本校オリジナル）				

◇ 科目の目標 ◇

福祉の見方・考え方を働かせて、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、適切で安全・安楽な生活支援技術を提供するために必要な基礎的な資質・能力を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 自立生活について理解し、支援に関する知識や技術を身に付けます。
- (2) 自立生活の支援に関する課題を発見し、職業人としての倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的・協働的に取り組む態度を養います。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名		主な学習内容
前期	講義	第1編 私たちの暮らしと生活支援 第2編 自立に向けた生活支援技術	・生活支援の理解 ・生活支援に向けたアセスメント【前期中間考査】 ・住環境の整備 ・家事の介護 ・身じたくの介護 ・移動の介護【前期期末考査】
	実技	環境整備 移動と体位変換 歩行の介護	・ベッドメイキング ・シーツ交換 ・水平・上方移動 ・車いすの介護 ・杖歩行 ・手引き歩行 【実技試験】
後期	講義	第2編 自立に向けた生活支援技術 第3編 終末期・緊急時の介護	・食事の介護 ・入浴・清潔保持の介護 ・排せつの介護 ・睡眠の介護【後期中間考査】 ・レクリエーションにおける介護 ・終末期の介護 ・緊急時の介護【学年末考査】
	実技	食事の介護 着脱の介護 清潔保持の介護の介護 排せつの介護	・食事介助 ・口腔ケア ・前開きの衣服の着脱介助 ・かぶりの衣服の着脱介助 ・手浴 ・足浴 ・紙おむつ交換 ・ポータブルトイレの介助【実技試験】

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

(1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

(2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

(3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

(4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・利用者の自立生活を支えるための知識や技術を学ぶ大切な科目です。将来、福祉職に就く者として、福祉に必要な見方や考え方、知識・技術・態度を学んでいきましょう。
- ・この科目を通して、利用者の尊厳を守るために、根拠に基づいて介助方法について学びを深めていきましょう。

## 介護総合演習

教科	福祉	単位数	1	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	なし				
副教材等	楽しく学べるマナーの基本（教育図書）、実習の手引き（本校オリジナル）				

### ◇ 科目の目標 ◇

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の創造と発展に必要な資質・能力を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 地域福祉や福祉社会について幅広く理解し、関連する技術を身に付けます。
- (2) 地域福祉や福祉社会に関する課題を発見し、職業人としての倫理観を踏まえ解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) 健全で持続可能な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や福祉社会の創造と発展に主体的・協働的に取り組む態度を養います。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を行う意義</li> <li>・実習の準備</li> <li>・実習後の学び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護総合演習で何を学ぶか</li> <li>・介護実習事前学習</li> <li>・実習 I-①（デイサービス）</li> <li>・介護実習事後学習</li> <li>・新聞レポートの取り組み</li> </ul> <p style="text-align: right;">【前期期末考査】</p>
後期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習の準備</li> <li>・実習後の学び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護実習事後学習</li> <li>・実習 I-②（障害者施設）</li> <li>・介護実習事後学習</li> </ul> <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別（【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】）に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・事前学習では、書類作成や実習先について調べていきます。提出物も多いため期限を守って取り組みましょう。
- ・事後学習では、お互いの実習での経験を共有し、学びを深めていきます。
- ・介護実習だけでなく、新聞レポートの作成を通して福祉について興味・関心をもてるよう取り組みましょう。

## 介護実習

教科	福祉	単位数	3	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	なし				
副教材等	実習の手引き、実習ファイル				

### ◇ 科目の目標 ◇

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、根拠に基づいた介護及び支援を実践するために必要な資質・能力を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 介護及び支援の実践について幅広く理解し、関連する技術を身に付けます。
- (2) 介護及び支援の実践に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護及び支援の適切な実践に主体的・協働的に取り組む態度を養います。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	介護実習 I-① デイサービスでの実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の理解          ・職員の理解</li> <li>・コミュニケーションの実施</li> <li>・介護技術の見学    ・実施</li> <li>・レクリエーションの実施</li> <li>・記録</li> </ul>
後期	介護実習 I-② 障害者施設での実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の理解          ・職員の理解</li> <li>・コミュニケーションの実施</li> <li>・介護技術の見学、実施</li> <li>・レクリエーションの実施</li> <li>・記録</li> </ul>

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(3)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 実習への取り組み

実習に対する姿勢、学習態度、実習への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) 実習日誌の記載内容

実習内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 自己評価・施設評価

実習内容の取り組みや実習日誌の内容を総合的に判断して評価する。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・利用者の方とたくさんコミュニケーションをとって、コミュニケーション能力を高めましょう。
- ・レクリエーションの実施では、お互いに協力しながら取り組みましょう。
- ・長期間の実習となりますので、体調管理や感染予防に努めてください。

## こころとからだの理解

教科	福祉	単位数	2	学科・学年	福祉科・1年
使用教科書	こころとからだの理解（実教出版）				
副教材等	なし				

### ◇ 科目の目標 ◇

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護を実践するための人間の理解に必要な資質・能力を身に付けるために以下のことを大切にします。

- (1) 自立生活の支援に必要なこころとからだについて幅広く理解して、関連する技術を身に付けます。
- (2) 自立生活の支援に必要なこころとからだに関する課題を発見し、職業人としての倫理観を踏まえ、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養います。
- (3) 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、こころとからだに基づいた自立生活の支援に主体的・協働的に取り組む態度を養います。

### ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習内容
前期	第1編 こころとからだの基礎的理解	・こころのしくみの理解 ・からだのしくみの理解 【前期中間考査】
	第2編 生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解	・生活動作に関するこころとからだのしくみの理解 ・生活に関するこころとからだの特徴
	第3編 人間の成長と発達の基礎的理解	・発達とは ・老年期の理解と日常生活 ・高齢者と健康 【前期期末考査】
後期	第4編 認知症の理解	・認知症をとりまく環境 ・認知症の基礎的理解 ・認知症に伴う心身の変化と日常生活 【後期中間考査】
	第5編 障害の理解	・障害の基礎的理解 ・生活機能障害の理解 ・障害に伴う心身の変化と日常生活 ・障害と地域生活支援 【学年末考査】

※実際の授業においては、理解度やその他の都合により内容の一部省略や前後することもありうる。

### ◇ 評価の方法とその観点 ◇

●下記の(1)～(4)の項目を、評価の観点別(【知識・技能】【思考・判断・表現】【主体的に学習に取り組む態度】)に評価します。成績はそれらの評価から総合的に判断します。

#### (1) 授業への取り組み

授業に対する姿勢、学習態度、授業への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。

#### (2) ノートの記載内容

授業内容を適切にまとめているかなどを評価する。

#### (3) 教科書・問題集の問題

各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。

#### (4) 中間・定期考査

学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、【知識・技能】【思考・判断・表現】に関する配分がもっとも大きい。

### ◇ 担当者からのメッセージ ◇

- ・誰もが自分らしく生きられるような支援をするために人のからだやこころに関する知識を学んでいきましょう。
- ・医学的な内容もあり、専門的と思うかもしれませんが、専門職にとっては欠かせない内容です。自分自身の生活の中に生かせるものもたくさんあります。